



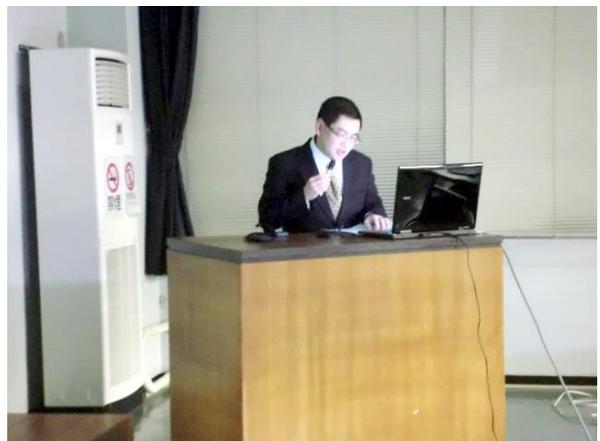
平成25年11月20日(水)、名鍍会11月度例会が鍍金組合にて開催されました。

今回は、奥野製薬工業株式会社様より、「3価クロム化成処理剤・新製品の紹介」というテーマで『亜鉛めっき用3価クロム化成処理剤』『Coフリー3価クロム化成処理剤』『亜鉛ニッケル合金めっき用3価クロム化成処理剤』について、更に日本表面化学株式会社様より、「脱脂剤及び分析装置について」というテーマで『脱脂剤・プラスクリン』『自動分析装置・トライパルワン』について商品説明をしていただきました。

奥野製薬工業様様の亜鉛めっき3価クロム化成処理剤「ESコート」シリーズの特徴は、pHを酸で調整し、補給は専用補給剤で一液にて管理できます。ベースとしては硝酸タイプと窒素等、環境に配慮した塩酸ベースがあります。そしてなによりも耐食性が非常に優れていることがあげられます。次に説明いただいたCoフリー3価クロム化成処理剤ですが、現在、REACH規制によるコバルトフリーが叫ばれています。その中で奥野様もCoフリーを開発されました。Coレスの色調、耐食性も改善され、非常に高性能なCoフリー3価クロム化成処理剤と感じました。最後に亜鉛ニッケル合金鍍金3価クロム化成処理剤「ESコートHN」をご紹介していただきました。ご存じの通り合金めっきは耐食性が亜鉛めっきより10倍以上高い処理です。耐食性が高い点から今後も、自動車、航空機産業では注目の処理液と言えるでしょう。



日本表面化学様様の脱脂剤「プラスクリン」の特徴はプラスクリン自体液体である事です。従来の脱脂剤は粉体の製品が多かった為、補給は定期補給で実施。その為、濃度管理が非常にアバウトな状態でしたが、今回は液体の為、定量補給が可能であり、管理精度が高くなることがあげられます。また「プラスクリン」は処理濃度も低く、脱脂液の問題である油分の問題も改善された為、従来品よりも更新頻度も著しく向上しています。よってコストダウンもはかれる脱脂剤であります。最後に説明いただいた



「トライパルワン」の特徴は、簡単に誰でもメッキ分析ができることです。めっき液、化成処理剤を安易に計測できることは、今まで手分析により手間がかかった作業を改善できる製品でした。